

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 平成28年度 要望・回答

箱根登山鉄道

I 利便性向上

1 駅施設等の整備

番号	要望項目	要望内容	回答
(1)	高齢者、障害者等利用者の安全確保と利便性向上を図るための駅施設等の整備等	<p>高高齢者や障害者等に対する駅施設等の整備については、「移動等円滑化の促進に関する基本方針」等により、主要駅への視覚障害者誘導用ブロック、階段手すり、触知案内板、転落防止柵の設置等、順次実施いただいておりますが、高齢者や障害者等の移動制約者が安心して鉄道を利用できるよう、同基本方針の整備対象外駅も含め、引き続き、駅施設等の整備改善に取り組まれるよう要望いたします。</p> <p>また、高齢者や障害者等が利用しやすいように、ラッシュ時における改札・精算窓口の駅職員の増員やエレベーター等利用時の駅職員による配慮のほか、利用者へ声かけなどの心のバリアフリーの啓発、車内における情報提供の充実、駅構内における音響音声案内装置や点字版等の設置などの取組みを、更に進めていただくよう要望いたします。</p> <p>なお、AEDにつきましては、すべての車両編成に装備いただいておりますが、引き続き、箱根湯本駅、強羅駅及び早雲山駅以外の駅への設置も進められるよう、要望いたします。</p>	<p>平成28年度はバリアフリー施策として「移動等円滑化の促進に関する基本方針」に基づき、劣化した入生田駅1番・2番ホームの内方線付点字タイルの部分交換工事を実施しました。</p> <p>プラットフォームでの安全対策としては、塔ノ沢駅および彫刻の森駅に列車非常停止装置(押しボタン)を新設するとともに、既に設置されている他の駅の列車非常停止装置の表示看板のデザインを統一し、視認性の向上を図りました。</p> <p>その他施設についても夏季および年末・年始の多客時の前に総点検を実施し、不良箇所の補修に努めました。</p> <p>また、鋼索線においては、車両の扉の開閉にあわせて音を発する視覚障害者用チャイムを設置しました。</p> <p>ソフト面では、サービス介助士取得や普通救命受講を促進し、心のバリアフリーを啓発いたします。AEDについては、運行する全ての車両編成に搭載されており、箱根湯本駅、強羅駅、早雲山駅への配置とあわせ、鉄道線、鋼索線全線を網羅されていると考えます。</p> <p>なお、国のインフラ長寿命化計画により鉄道事業者に対しても厳正な維持管理が指導される中、箱根登山鉄道では全ての鉄道施設の老朽化が進み、維持・修繕に関する費用が増加しております。施設改修に関しては地域公共交通確保維持改善事業等を活用し延命措置をしております。各種補助金制度が充実している情勢を受け、協調補助につきましては予算措置等の前向きなご協力をお願いいたします。</p> <p>以上</p>